



2024年2月27日

2024年3月13日更新

報道関係各位

スカパーJSAT株式会社

伊藤忠商事株式会社

## スカパーJSATと伊藤忠商事 内閣府主催「第6回宇宙開発利用大賞」環境大臣賞を受賞

スカパーJSAT株式会社（本社：東京都港区、代表取締役執行役員社長：米倉 英一、以下「スカパーJSAT」）と、伊藤忠商事株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長 COO：石井 敬太、以下「伊藤忠商事」）は、内閣府が主催する「第6回宇宙開発利用大賞」の環境大臣賞を受賞しました。宇宙開発利用大賞は、内閣府が主催する宇宙開発利用の推進において大きな成果を収め、先導的な取り組みを行った企業やプロジェクトを表彰する制度です。

今般、スカパーJSATと伊藤忠商事が共同で、カタル環境省（Ministry of Environment and Climate Change、以下「カタルMECC」）に対して提供した SAR<sup>※1</sup>衛星画像を活用した海上オイル漏れ検知サービスが、海洋環境保護の視点から特に顕著な功績があったと認められました。

本検知サービスは、スカパーJSATの提携先である衛星事業者大手の Kongsberg Satellite Services AS（本社：ノルウェー トロムソ）、および同社のパートナーが保有する地上局で取得した SAR 衛星画像を用いて、海上のオイル漏れを検出します。その後、船舶から発信される AIS（船舶自動識別装置）情報<sup>※2</sup>と組み合わせることで、オイル漏れのあった船舶を特定できます。

全世界で、石油タンカーによるオイル流出事故は1970年代以降、約2,000件報告<sup>※3</sup>されており、特にカタルを含む、多国籍船舶が多く航行するペルシャ湾沿岸では、オイル流出対応策を長年検討しています。環境保護の観点からも、船舶から漏れ出したオイルが着岸する前に可能な限り早く検知し対処することが重要です。本検知サービスは、沿岸部の海水淡水化施設や発電所などの重要施設をオイル漏れによる被害から防ぎ、海洋環境の保護への活用が期待できます。

スカパーJSATおよび伊藤忠商事は、今後も市場拡大が見込まれる宇宙からの観測データ等を活用し、社会と環境の持続可能性への貢献と健全な事業活動による社会課題の解決を通じて持続的な成長を目指してまいります。

<sup>※1</sup> SAR：合成開口レーダー（Synthetic Aperture Radar）の略。地表にマイクロ波を照射し、反射して返ってきた信号を分析することで地表の画像を得るレーダー。雲や噴煙を透過し、昼夜や天候に関係なく地表の状況を把握することができる点が特長です。

<sup>※2</sup> AIS 情報：船舶自動識別装置（Automatic Identification System）から発信する自船の識別符号、船名、位置、針路、

船速、行き先などの情報。衝突防止等海洋安全の観点から、洋上を航行する船舶同士がこれらの航行情報を相互交換しており、SOLAS 条約（海上人命安全条約）によって定められる対象船舶への AIS 搭載が義務化されています。AIS は常に電源をオンにしておく必要があり、停船中であっても、自船の船舶情報を発信し続けることで、当該船の居場所の把握が可能です。

※3 International Tanker Owners Pollution Federation より引用。

#### ■ 関連リンク

- 第 6 回宇宙開発利用大賞 <https://www.s-riyoutaishou.jp/>
- 2023 年 6 月 19 日：スカパー J S A T プレスリリース  
カタールにおける SAR 衛星画像を用いた海上オイル漏れ検知サービスを提供開始  
<https://www.skyperfectjsat.space/news/detail/sar.html>
- 2016 年 12 月 7 日：スカパー J S A T プレスリリース  
低軌道衛星向け地上局サービスで世界主要ノルウェー企業 Kongsberg Satellite Service と戦略的業務提携を締結  
[https://www.skyperfectjsat.space/news/files/pdf/news\\_sjh\\_jp\\_20161207\\_02.pdf](https://www.skyperfectjsat.space/news/files/pdf/news_sjh_jp_20161207_02.pdf)

#### ■ 2024 年 3 月 12 日に行われた授賞式の様子



受賞時の写真

- 受賞のポイント（選考委員講評より引用）  
日本として、戦略的・政策的に重要な地域である中東における良いサービス事例であり、カタール政府が本サービスを導入したことを契機として、他のペルシャ湾岸諸国からも問い合わせがあり、今後の契約数の伸びが期待できる。SAR 衛星を利用し船舶からの海上の

オイル漏れを特定することが可能となるものであり、すでにカタール環境省に提供を開始している。本サービスの普及によりオイル流出による海洋汚染への早期対処につながり、海洋環境の保全や資源の有効活用の効果が期待される。

● 受賞コメント

スカパーJ S A T 宇宙事業部門 スペースインテリジェンス事業部 第2チーム長  
平田 大輔

このような賞をいただけて大変うれしく思います。観測衛星は広域の状況把握ができるという特長があります。

特に SAR 衛星は、天候に左右されず昼夜の観測をすることができます。今回はその特長を活かして海洋環境保護に資するサービス提供を開始することができました。今後も観測衛星などの宇宙データを活用し、海洋環境保全だけでなく様々な災害リスクに対応できるソリューションを展開してまいりたいと考えています。